

盛岡市立小中学校の耐震診断の状況と今後の対応について

平成21年8月24日

教育委員会

1 耐震診断結果及び計画

盛岡市教育委員会では、市立小中学校耐震化対策として、新耐震基準以前（昭和56年以前）に建築した小・中学校の校舎・体育館について、平成18年度までに第1次耐震診断を完了し、平成19年度からは、第1次耐震診断結果に基づきIs値の低い施設（棟）を優先し、第2次耐震診断を実施しております。

第2次耐震診断結果と今後の計画は次のとおりですが、国の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、平成22年度計画を前倒しして、第1次耐震診断でIs値「0.4」未満の施設までを平成21年度7月補正で予算措置しました。

(1) 第2次耐震診断結果（下線はH20年度実施分）

	小学校	中学校
Is値「0.3」未満	【全2校・校舎5棟】 緑が丘小2<→H21耐震工事>、 <u>厨川小3</u>	【全5校・校舎5棟、体育館(3)棟】 大宮中(2) <→H21耐震工事>、 <u>厨川中2、下橋中2、城東中1、</u> <u>藪川中(1)</u>
Is値「0.3」以上 「0.7」未満	【全6校・校舎10棟】 緑が丘小4、大新1、 <u>厨川小1、</u> <u>北厨川小2、本宮小1、川目小1</u>	【全4校・校舎11棟】 <u>下橋中4、厨川中1、大宮中4、</u> <u>巻堀中2</u>
Is値「0.7」以上		【全1校・校舎2棟、体育館(1)棟】 <u>巻堀中2・(1)</u>

* 数字は校舎棟数、()内は体育館棟数

(2) 第2次耐震診断計画

年度	実施予定校	棟数	校数	1次診断結果
平成21年度 <実施中>	青山小、玉山小、高松小、 中野小、上田中、城西中	11	6	[Is値<0.3]
平成22年度 ⇒平成21年度 <7月補正>	太田東小、大新小、松園小、 月が丘小、仁王小、東松園小、 見前小、厨川小、本宮小、青山小、 高松小、城東中、上田中、城西中、 繫中、厨川中、北陵中、下小路中、 仙北中、下橋中	55	20	[0.3≤Is値<0.4] (ほか)
平成23年度	生出小、仙北小、松園中ほか	37	20	[0.4≤Is値<0.7]

* 重複する学校があるのは、校舎・体育館の棟ごとにIs値「0.3」未満を優先して実施しているためである。

2 今後の対応

(1) 耐震化工事

第2次耐震診断の結果により、Is値が「0.7」未満となった施設は耐震化工事が必要であり、中でもIs値が「0.3」未満の施設は大規模地震により倒壊（崩壊）する危険性が高いことから、早期の耐震化完了（目標平成23年度）に向け、工事実施することとしています。

なお、耐震化工事の方法等については、第2次耐震診断で提案された工法の比較、工事期間、授業への影響等を精査し決定して参ります。

平成20年度第2次耐震診断実施結果（「建築物耐震診断・耐震改修判定委員会」承認）により、Is値が「0.3」未満となった次の施設について、9月補正予算計上するものです。

① 厨川小学校校舎（Is値「0.257」～）：耐震補強工事

構造躯体のコンクリート強度の状況等から、構造躯体は健全な状態であると判断され、耐震化に当たっては補強工事での対応が可能。

9月補正予算額 95,100 千円

<太陽光発電事業を含む、H22までの総事業費約143百万円>

② 厨川中学校校舎（Is値「0.077」～）：改築工事

構造躯体のコンクリート強度の状況等から、補強工事での対応は難しく改築が必要。

9月補正予算額 264,200 千円<H23までの総事業費約2,143百万円>

③ 城東中学校校舎（Is値「0.183」～）：改築工事

構造躯体のコンクリート強度の状況等から、補強工事での対応は難しく改築が必要。

9月補正予算額 201,000 千円<H22までの総事業費約254百万円>

④ 下橋中学校校舎（Is値「0.106」～）：耐震補強工事

構造躯体のコンクリート強度の状況等から、構造躯体は健全な状態であると判断され、耐震化に当たっては補強工事での対応が可能。

9月補正予算額 78,000 千円

<太陽光発電事業を含む、H22までの総事業費約114百万円>

⑤ 薮川中学校体育館（Is値「0.129」～）：耐震補強工事

プレースの設置箇所を変更し交換することで、耐震化が可能。

9月補正予算額 12,400 千円<H22までの総事業費約16百万円>

*参考：太陽光発電事業で地上架台方式のもの（耐震化以外）

9月補正予算額 53,700 千円（松園小・都南東小・飯岡中）

(2) 耐震化の推進

平成21年4月1日現在の盛岡市の耐震化の状況は、耐震化率59.2%であり、平成20年度（57.2%）より2ポイント上昇したものの、国（平成21年4月1日現在67.0%）、岩手県（平成21年4月1日現在66.4%）と比較して低い状況であります。

今後の市立小中学校の耐震化に当たっては、「盛岡市耐震改修促進計画」との整合性を図りながら耐震化率向上を目指し、第2次耐震診断及び耐震補強工事を推進して参ります。